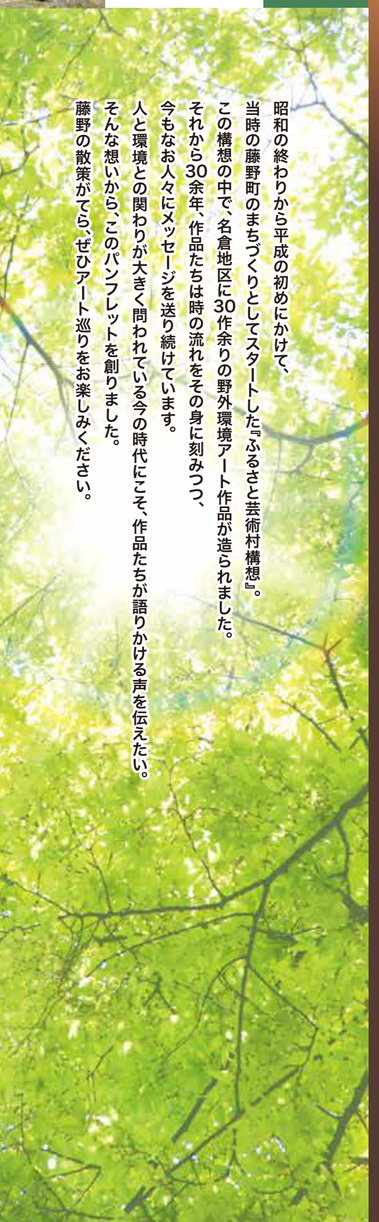
芸術の道

●アートの棲むまち 藤野

Field Museum Guide

FUJINO ART SANCTUARY

昭和の終わりから平成の初めにかけて、
当時の藤野町のまちづくりとしてスタートした『ふるさと芸術村構想』。
この構想の中で、名倉地区に30作余りの野外環境アート作品が造られました。
それから30余年、作品たちは時の流れをその身に刻みつつ、
今もなお人々にメッセージを送り続けています。
人と環境との関わりが大きく問われている今の時代にこそ、作品たちが語りかける声を伝えたい。
そんな想いから、このパンフレットを創りました。
藤野の散策がてら、ぜひアート巡りをお楽しみください。



1 『フジノゲート』H21作:髙橋　政行

芸術のまちFUJINOを訪れる人々を迎え、帰路に着く人々を見送る「芸術への門」。
藤野アートを巡る旅は、ここから始まり、ここへ帰り着く。
人々の心の中に芸術の灯が輝き続けることを夢見ながら、ゲートは静かに佇む。

※藤野観光案内所入り口に設置されています

2 『藤波』H2作:與倉　豪

淡い柴は藤野の記憶。
目にするたび、日常の中で忘れ去られた情景や色彩が、
今も色褪せることなく、人々をやさしく迎えてくれる。

※H21全面リニューアルしました

3 『瀞(とろ)』H1作:深谷　泰正

この作品は、植物の種が発芽する時の、内から外へ発せられる
自然の強い生命力を表現している。

4 『バッファロー』S63作:ジム・ドラン

荒々しく大地を駆けるバッファローの雄々しい姿。
生命の躍動感を、陰影豊かな造形で表現した作品である。

※藤野総合事務所玄関脇に設置されています。

5 『記憶容量―水より、台地より』H3作:岡本　敦生

これは、置かれる場所からの触発ではなく、作者の内面思考から
生まれた作品である。石という素材の骨性と、作者の関わりによ
って展開され、石の意外な表情の表現を意図している。
環境の中で、これから作品がどのように呼吸を始めるかを見届
けたい。

※目逢大橋のたもと両端それぞれに設置されています。

6 『両側の丘の斜面』H2作:三梨　伸

変化に富む自然の中に異質な造形を持ち込むことにより、
空間の緊張感、相対性、小宇宙を創造する。

7 『COSMOS』H2作:村上　正江

彼女が見つめる瞳は、内に秘めた愛を持って太古へいざない、
遠く宇宙へ旅立つ。
彼女の思いは悠久の風に乗り、無限の世界へと続いている。

8 『限定と無限定』H3作:古郷　秀一

周辺の環境を直接作品に取り込むため、細い鉄筋を幾重にも重
ねて、半透視の空間を作っている。これは、彫刻と空間の固定的
な枠を越え、見え隠れする新たな空間を提示している。
作品相互の強烈なコントラストの中に、自然への労いが伝わっ
てくる。

9 『射影子午線』S63作:加藤　義次

楕円球状パイプから1988年10月の天空を望めば、火星が見える
ように設置されている。
ユークリッド幾何学の曲線は楕円、双曲線、放物線の三種類で構
成され、射影空間の中に宇宙の広がりを構成している。

10 『山の目』S63作:髙橋　政行

見慣れた山が突如目を覚まし、変貌する下界にメッセージを送る。
春のうららかな日溜りの中から、あるいは夏のキラキラと輝く
新緑、真赤に燃える紅葉の中から、そして静寂の雪に眠る。四季
の移ろいとともに送られる無言のメッセージに、人は何を感じ
るのだろうか。

11 『森の守護神』H3作:佐光　庸行

藤野の自然を大胆に切り取り、石の素材でシンプルに、しかもダ
イナミックに表現している。樹木の生命感あふれる姿を想像さ
せ、また、DNA(染色体)の遺伝子をも連想させるこの作品は、過
去から未来へと、自然のたくましさを語り伝える。

12 『回帰する球体』H1作:中瀬　康志

どこからか流れてきてここに落ち着き、周囲の自然に馴染んで
しまった巨大な種子。
新しい命が吹き出して自然と同化していく様子を表現した作品。

13 『吠える』H1作:植草　永生

人間社会の営みは、自然界の営みにも似て、変化する環境と密接
な関わりを持っている。
「吠える」は凝縮された万物の呼びであり、自己への回帰でもあ
る。

※葛原神社裏手に設置されています。

14 『語り合う石たち』H2作:杉浦　康益

実は同じ形に作られた８個の作品。
置き方を違えることにより、それぞれに個性と存在感が生まれ
る。存在するという実感を大地に表現した作品は、相互に語り合
っている。

※葛原神社裏手に設置されています。

15 『羅典薔薇』H2作:加藤　義次

自然との共鳴があり、光の投影がある。
時間という連続の中にあって、違うわず、さりとて迎合もせず、
常に連続的な変化の知性を秘めた作品である

※葛原神社入口に設置されています。

16 『FLORA・FAUNA』H2作:原　智

巨大な昆虫のような作品を置くことによって、それまでの静寂
な空気が破壊され、また新たな呼吸を始める。
静かに死んで行く時間や空気に、永続的な刺激と振動を与えた
作品。

17 『庵(いおり)』H3作:斉藤　史門

林の中に、あたかも何十年も前から存在しているかのような建
物らしきもの。やがて錆び、朽ち果て、草木に覆われて廃となる。
人の生活と歴史、過ぎ去った時間を表現した作品。

18 左『未来への躍動』右『季節の翼』H3作:中瀬　康志

自然と子供たちのすばらしいパワーを表現した作品。

※この2作品は「シュタイナー学園」敷地内に設置されています。
許可無く立ち入ることはご遠慮下さい。

19 『森の記念碑』H2作:池田　徹

鉄と石を使って、自然との調和と緊張感を演出。
空間を切り取ったり、付け足したりすることにより、大自然を
凝縮したり拡散したり。そんな小宇宙を創造している。

20 『芽軸』H2作:田辺　光彰

大自然の醍醐味は発芽の瞬間。
この作品は、植物が芽を出す時の凄まじいエネルギーを表現し
ている。
その形はユリの発芽から発想し、光を求めるかのように、南を指
して傾いている。

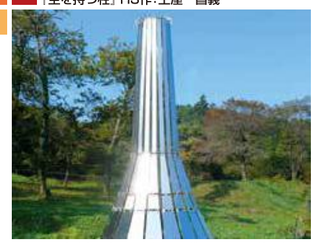
21 『雨』H8作::フェリット・オズシェン

芸術の道のゆるやかな坂道に、窓から雨を眺める
「Rain on my(your) window」がある。
窓の先には、天空に湧き出た雨雲が、大地に雨を降らせる情景。
天の恵みを、周囲の自然と共に感じさせてくれる作品。

22 『あなたと…明日の空の色について』H3作:武荒　信顕

栗林の広がる斜面に、絶妙のバランスで構成された幾何学的作品。
青空を流れる雲や、風に吹かれてなびく草木が鏡面に映され、も
うひとつの自然を見出す。あるがままの自然と次元を超えた自
然が新鮮な感動を、観る者に与えてくれる。

23 『空を持つ柱』H3作:土屋　昌義



ステンレス板を組み合わせて造られた塔。これまでの塊の空間と
は異なる虚空間を創造することで、自然との調和を図った作品で
ある。陽光を反射し、板と板の間を風が通り過ぎることで、自然と
共鳴する音楽的空間をも形作っている。

24 『カリブー』S63作:ジム・ドラン

生命力に溢れたシカ科の動物カリブー。
自然に溶け込んで、今にも跳躍しそうな姿。その見事な角に秘
められた強さは、命の輝きを感じさせてくれる。

※名倉グラウンド入口に設置されています。

25 『トライアングル・ウインド・ソング』H2作:鈴木　明

風の音、木の音、土の音、時には雨の音が鉄に肌に伝わり、また光
や影により奏でられる。
人と環境と芸術が調和したリズムを表現した作品である。

※名倉グラウンドに設置されています。

26 『過去からのひびき(エコー)』S63作:アロイズ・ラング

都市と円盤、２つのオブジェからなる作品。人間社会が進化する
にしたがい自然は破壊され、共生への道は閉ざされていく。
しかし自然の中に人間の故郷のような風景が残されている限り、
人間は共生への可能性を失ってはならない。
この作品は、昔の姿を残そうとする自然を表現している。

※都市は名倉グラウンド法面、円盤はグラウンド上部ハイキングコース横に設置されています。

27 『緑のラブレター』H1作:髙橋　政行

藤野野外環境彫刻を代表する作品。
インパクトのある姿から多くのファンを持ち、メディアにもた
びたび登場している。自然の素晴らしさ、環境の大切さを、山が
ラブレターを抱く姿で表現し、人々の心のポストに「森と湖から
のメッセージ」を送り続ける。

※中央自動車道、藤野パーキングエリア、JR藤野駅から見ることができます。

28 『カナダ雁』S63作:ジム・ドラン

大自然の中を、力強く飛翔するカナダ雁の姿。
山と湖に恵まれた母国カナダを感じる藤野で、雄大なフィーリ
ングを観る人々に与えてくれる。

※弁天橋のふもとに設置されています。

「芸術の道」案内板

豊かな自然に育まれた藤野の文化、芸術活動への出会いを案内
します。芸術の道沿いや野外環境アート作品のある場所に設置
されています。

藤野園芸ランド遊歩道

森林浴の森日本100選にも選ばれた広葉樹の中にある「藤野園芸
ランド遊歩道」は、藤野芸術の道の至る所で接続しています。
芸術鑑賞とセットでマイナスイオン満点の雑木林の中を歩くコ
ースは特におすすめです。

FUJINO ART SANCTUARY

野外環境アート作品ガイドとコースの案内

芸術の道

観光案内所「ふじのね」

ここが「ふじの」の根っこになる。
ここから「ふじの」の音色が届く。
アート情報パンフレットもたくさんあります。
藤野のアート巡りは、ぜひここから！
在住アーティストの作品ほか土産品も充実しています!

〈お問い合わせ〉
ふじのね
TEL 042-687-5581
■営業時間／8:30～17:00
■年中無休（年末年始除く）

ギャラリー「シーゲル堂」

山里の芸術家たちが作った不思議なお店。
店内には実用品から謎の物体（？）まで、
地元作家の作品が所狭しと並んでいます。

〈お問い合わせ〉
シーゲル堂
TEL 042-687-3907
■営業時間／10:00～17:00
■定休日／月・火及び1・2・8月休業

神奈川県立 藤野芸術の家

泊まってくつろいでアートする、芸術の拠点。
工房での創作からホールでのコンサート、
アウトドアでのキャンプまで楽しみ方はいろいろ。
自然にあふれた藤野ならではのユニークな
アート体験を満喫できます。

〈お問い合わせ〉
藤野芸術の家
TEL 042-689-3030
■開館時間／9:00～21:00
■定休日／毎週火曜及び年末年始
※時間等詳しくは問い合わせ下さい。

ふじのアートヴィレッジ

藤野ふるさと芸術村構想を背景にこの地に蓄積された
「人」「水」「森」「里山」「農林業」「芸術」などをさらに
発展させることを目的にオープンしたアートスポット。
小さな移動式ミニギャラリー９棟では、地元在住
アーティストたちの作品等が展示販売されています。

〈お問い合わせ〉
ふじのアートヴィレッジ
TEL 090-5564-6776
■営業時間／11:00～17:00
■営業日／土・日・祝日のみオープン

野山の食堂

〈お問い合わせ〉
TEL 090-3791-0999
■営業日／金・土・日 藤平ピザ／月～木 笑花食堂

ACCESS

●電車をご利用の場合
JR新宿駅より八王子経由で65分
JR横浜駅より八王子経由で80分

●お車をご利用の場合
中央自動車道相模湖インターより5分
圏央道相模原インターより40分、高尾山インターより25分

● 芸術の道 おすすめ散策コース ●

※時間は目安です

満喫コース（180分）

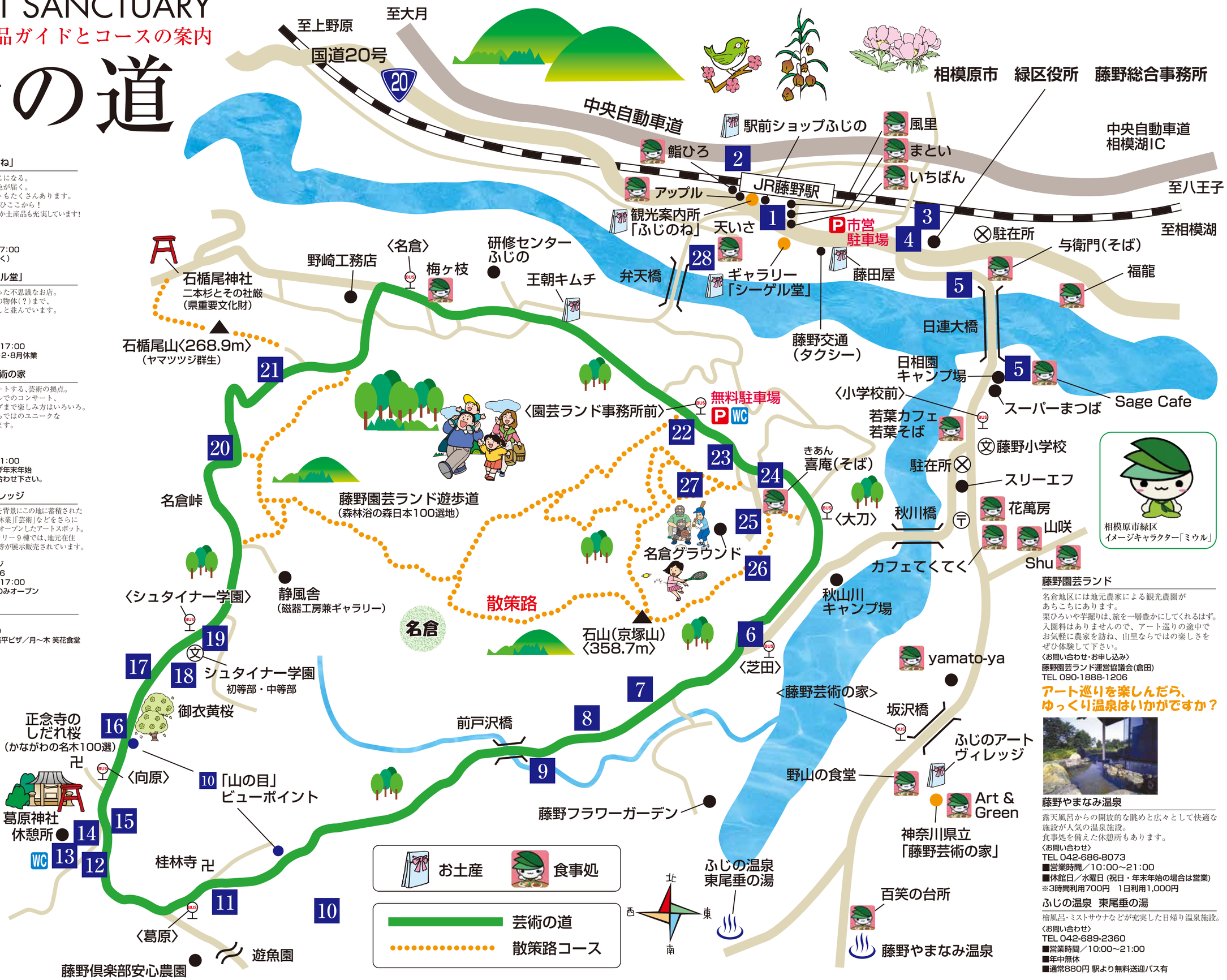
JR藤野駅→日連大橋→秋川橋
→芸術の道入口（⚠『両側の丘の斜面』が目印）
→前戸沢橋→葛原神社→名倉峠→市道
→名倉グラウンド→弁天橋→JR藤野駅

お手軽コース（75分）

JR藤野駅→日連大橋→秋川橋→名倉グラウンド
→弁天橋→JR藤野駅

藤野ふるさと芸術村 メッセージ事業推進委員会
●藤野まちづくりセンター●

〒252-5152　神奈川県相模原市緑区小渕2000番地
TEL042-687-2119　FAX042-687-5688
E-mail：fujino-cen@city.sagamihara.kanagawa.jp



藤野園芸ランド

名倉地区には地元農家による観光農園が
あちこちにあります。
栗ひろいや芋掘りは、旅を一層豊かにしてくれるはず。
入園料はありませんので、アート巡りの途中で
お気軽に農家を訪ね、山里ならではの楽しさを
ぜひ体験して下さい。

〈お問い合わせ・お申し込み〉
藤野園芸ランド運営協議会（倉田）
TEL 090-1888-1206

**アート巡りを楽しんだら、
ゆっくり温泉はいかがですか？**

藤野やまなみ温泉

露天風呂からの開放的な眺めと広々として快適な
施設が人気の温泉施設。
食事処を備えた休憩所もあります。

〈お問い合わせ〉
TEL 042-686-8073
■営業時間／10:00～21:00
■休館日／水曜日（祝日・年末年始の場合は営業）
※3時間利用700円　1日利用1,000円

ふじの温泉　東尾垂の湯

檜風呂・ミストサウナなどが充実した日帰り温泉施設。

〈お問い合わせ〉
TEL 042-689-2360
■営業時間／10:00～21:00
■年中無休
■通常880円 駅より無料送迎バス有